

# Love is Free Campaign 蚊帳配布第二弾



2011年7月から、第二弾の蚊帳の配布が行われました。

第1弾の配布での経験を元に、蚊帳は国際NGO「PSI Malawi」を通じて「オリセット®ネット」のライセンス供与を受けたマラウイの企業「HEALTH NET LTD」が製造したものを購入。また、マラウイの住宅事業に配慮して円錐形のものを選びました。

- 配布時期：2011年7月～（計3回に分けて配布）
- 配布数：2000張（内1000張は住友化学株式会社様によるマッチング寄付）
- 蚊帳のタイプ：円錐形
- 配布方法：国際NGO「PSI Malawi」の協力で配布先へ搬送および配布。
- 配布先：コンソル・ホームズ・オルファン・ケア



## コンソル・ホームズ・オルファン・ケア



マラウイ中部に位置するナミテテで活動するNGO。エイズと共に生きる人々（PLWHAs: People living with AIDS）を対象にした在宅ケアと、エイズなどで片親または両親を失った子どもたちへの支援を行っています。

創始者であるチャボンバ夫妻を中心に、現地のコミュニティの人々自身が作り上げ、運営しているNGOで、現在76のセンターがナミテテとンチュウ地区を中心に点在。約600名の現地ボランティアが協力して、7歳から18歳の子どもたち約14,000名の支援を行っています。

コンソル・ホームズ・オルファン・ケアのチャポンバ夫妻により、メインセンター(ナミテテ地区)と、支部のあるンチェウ地区(コンソル・ホームズのメインセンターがあるナミテテ地区から車で約3時間の地区)にて蚊帳の配布が行われました。



ナミテテにあるコンソル・ホームズ・オルファン・ケアのメインセンターにて配布。

## マラウイ・ナミテテ地区

マラウイの首都リロングウェより車で約40分行った先にナミテテ地区はあります。2009年に行った調査の結果、ナミテテ地区の付近で蚊帳を使って眠っている子どもたちの数は5人に2人にしかすぎず、またマラリアの予防法などが話題に上ったり、考えたりした経験がない人が大半であることがわかりました。こうした調査結果を元に、どのようにマラリアの予防をサポートし、また予防方法を伝えていくかを検討し、蚊帳の配布事業へつなげられました。



蚊帳を受け取りはしゃぐ子どもたち。



できるだけ早く、そして蚊帳を待つたくさん子どもたちへ届けるため、チャポンバ夫妻がトラックで直接各地の支部へ配布して回りました。



# 受益者からのメッセージ

## アレックス 15歳

日本のみなさん本当にありがとう。貧しい家は油や石鹸、砂糖を買うこともできないので、蚊帳は後回しになってしまいます。これからは毎日蚊帳の中で寝られるので嬉しいです！



アレックスは両親が亡くなっており、親戚家族と生活しています。5人暮らしで蚊帳が一つしかないため、アレックスは今まで蚊帳で寝ることができませんでした。今回届けられた蚊帳のおかげで、アレックスは蚊帳の中で寝ることができるようになりました。マットレスがないためゴザの上で寝ていますが、きちんと蚊帳の裾をゴザの下に巻き入れることで、蚊が入らないように工夫して寝ています。

## アントニ 7歳

蚊帳で寝ることでマラリアを防ぐことができるからとっても嬉しい！これからは毎日蚊帳の中で家族と寝ます。



アントニはお父さん、お母さん、妹と暮らしています。家には蚊帳がなかったため、今回蚊帳をもらったことで家族みんなが蚊帳の中で寝られる、と喜びのメッセージをくれました。

## 配布したチャポンバ園長より

蚊帳の配布を3度に分けて実施しました。今回はたくさんの子どもに届くよう、広範囲に渡り配布しました。

マラウイでは、毎年たくさんの方がマラリアが原因で命を落としています。特に小さな子どもがマラリアで亡くなっています。蚊がマラリアに感染することを知っていても、蚊取り線香を買うお金も蚊帳を買うお金もない人たちが、マラウイにはたくさんいます。

さらに、両親がいても、蚊帳の大切さを認識している親はとても少ないのです。

今回日本より蚊帳が届けられたことは、お父さんお母さん自身も、マラリアの危険性を認識する良い機会となったと思います。

本当にありがとうございました。

Love is for free.



今回配布した蚊帳は、マラウイで製造されたもの。マラウイの現地企業が住友化学のライセンスを取り、同社の蚊帳の素材となる生地を購入して製造しています。

マラウイの工場で購入したことで、調達にこれまでかかった輸送費を大幅に削減できただけでなく、現地の収入創出にもつながりました。

会社ではひとつひとつ丁寧に穴が開いていないかを確認後、出荷しています。

## エリナの近況



Love is Free Campaign開始のきっかけとなったのは2008年のマラウイ訪問のときにエリナの家を訪問したとき。無数の蚊が飛び交う彼女の家を訪れたことが、支援のきっかけとなりました。エリナに蚊帳を手渡したのが2010年2月。現在、mudefの支援で建てられた新しい家に暮らすエリナは、蚊帳を上手に使って蚊にさせられない工夫をしています。

# オリセット®ネットの配布



mundefでは第1回の配布より住友化学株式会社が製造する長期残効型防虫蚊帳で、WHO（世界保健機関）からも使用を推奨されている「オリセット®ネット」を調達、配布しています。

第1回目に配布したスクエア型のものから、マラウイの建物事情を考慮してスクエア型よりも高価ではあるものの、使いやすい円錐形を注文。第2回目の配布からはマッチング寄付としてmundefが購入した1000張分に対して、同数の蚊帳を住友化学も購入、配布に協力していただきました。

蚊帳が入っている袋には、文字が読めなくても正しい使い方がわかるようにイラスト入りで使用方法が説明されています。

## 協力企業一覧

Love is Free Campaignは多くの企業に支えられて運営されています。

第二回配布実績（敬称略・50音順）

- 住友化学株式会社（マッチング寄付でのご協力）
- vanilla sugar（チョコレートデザイン株式会社）（オリジナル商品「星空のショコラ」の価格の10%を寄付）
- 株式会社dmp（キャンペーンサイトの制作・運営協力）

## メディア掲載

第二回の配布の様子はメディアで複数掲載されました。

特に第二回目は雑誌SOTOKOTOで連続6回の連載ページを持ち、マラウイの最新ニュースやマラリアのこと、蚊帳を受け取った受益者からの喜びの声やその後の使用の様子などを紹介させていただきました。

2011年5月16日 CHEMNET TOKYOニュース「住友化学、マラリア予防防虫蚊帳 アフリカへ寄付」

2011年5月17日 化学工業日報「住友化学 マラウイで蚊帳を配布 マラリア予防活動の一環で」

2011年5月17日 石油化学新聞日刊通信「住友化学とmundef、防虫蚊帳をマラウイに配布」

2011年5月17日 JCHEM-NEWS

「住友化学、マラリア予防防虫蚊帳オリセットネットをアフリカ南部マラウイで配布」

2011年10月号 SOTOKOTO 「Love is Free Campaign Vol.1」

2011年11月号 SOTOKOTO 「Love is Free Campaign Vol.2」

2011年12月号 SOTOKOTO12月号 「Love is Free Campaign Vol.3」

2012年1月号 SOTOKOTO1月号 「Love is Free Campaign Vol.4」

2012年2月号 SOTOKOTO2月号 「Love is Free Campaign Vol.5」

2012年3月号 SOTOKOTO2月号 「Love is Free Campaign Vol.6」